

授業科目名： 教科（外国語）	教員の免許状取得のための必修科目	単位数： 2 単位	やまだゆうじ 担当教員名：山田裕師 担当形態 単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）		
各科目に含めることが 必要な事項	教科に関する専門的事項「外国語」		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ 小学校外国語活動・外国語の授業実践に必要な知識を身に付けるとともに教科としての外国語の在り方を探る。			
授業の概要 ・ 小学校外国語活動・外国語科の授業を担当するために、学習指導要領などから必要な知識を身に付ける。 ・ 小・中学校の接続も踏まえながら、小学校外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な指導技術を知る。			

授業計画

- 第1回：学習指導要領の変遷～小学校外国語教育の導入～
第2回：外国語活動・外国語導入の趣旨と要点
第3回：外国語活動と外国語の目標～違いと特徴及び接続～
第4回：外国語活動と外国語の領域～5つの領域と第二言語習得理論～
第5回：「聞くこと」～基本的な表現の理解と具体的な情報の理解～
第6回：「読むこと」～文字の識別と語句や表現の理解～
第7回：「話すこと（やり取り）」～伝え合うことの内容～
第8回：「話すこと（発表）」～基本的な表現で話すことの内容～
第9回：「書くこと」～書くことの内容～
第10回：授業実践に必要な総合的な力
第11回：視聴覚教材を利用した学習～ICTなど情報通信技術の活用 他～
第12回：コミュニケーション能力とコミュニケーション活動
第13回：異文化理解と自国文化理解
第14回：他教科との関連
第15回：小学校外国語活動・外国語科の今後 ～小・中学校の接続を踏まえて～
定期試験

スクーリングでの学修内容

スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

- (1) 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編』（開隆堂）
(2) NEW HORIZON Elementary English Course ⑤（東京書籍）

参考文献

- (1) 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編
(2) 高等学校学習指導要領（平成30年告示）

学生に対する評価

レポート評価（25％）、スクーリング評価（25％）、科目修得試験（50％）の割合で総合して評価する。